

# 緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 32 2020年10月29日 JR東労組

## 取り巻く情勢を見定めて 年末手当交渉に向け議論しよう！



10月28日にJR東日本は2020年9月中間連結決算を発表しました。純損益が2643億円の赤字で、中間決算を公表するようになってから初めての赤字となりました。そのことは、先日のANAホールディングスの報道と同じくらい新聞・テレビでも数多く報道されています。

併せて「固定費削減などの構造改革を全グループ挙げてしっかり取り組み、来年度は黒字化する」と述べられ、2021年3月期に1560億円のコストカットを実現していくとしていることも報道されています。

また、鉄道事業収入に関しては「Go To トラベル」の効果もあり、第1四半期の4～6月期より回復していると言われています。

2020年度鉄道営業収入対前年比の推移の上半期合計は対前年比40.8%です。

JR東日本の予測では今年度末で定期収入は約85%に戻り、定期外収入は来年度には定常状態で80%と予測しています。

4月の対前年比24%の状況からコロナ禍で不安を抱えながらも私たちは頑張ってきました。今後も黒字経営に向けて具体的な取り組みや、様々な施策が打ち出されていくと考えられますが、私たちは安全と生活を守ることを大前提にこれまでも真摯に向き合ってきました。

2020年度 鉄道営業収入 対前年比の推移

10月28日に  
上半期まで発表！

	定期収入	定期外収入		計	合計
		近距離	中長距離		
4月	50.5	25.5	2.1	10.7	24
5月	71.6	27.7	5.5	14.8	29
6月	103.4	55.8	26.4	38.5	53.3
第1四半期	69.3	36	10.6	20.7	34.1
7月	73.4	58.5	26.3	38	46.5
8月	78.1	57.1	23.8	36.4	44.4
9月	53.1	66.9	34.4	46.6	49.2
第2四半期	63.6	60.7	28.1	40.3	46.9
上半期	66.3	48.5	19.9	30.9	40.8

回復

**これまでの努力とこれからの努力は、黒字経営に向けた努力です！  
そのことを堂々と訴え、正当な評価を求めます！**

**雇用と職場を守るために私たちにできることを職場から議論していこう！**